

2026 年 7 月 30 日

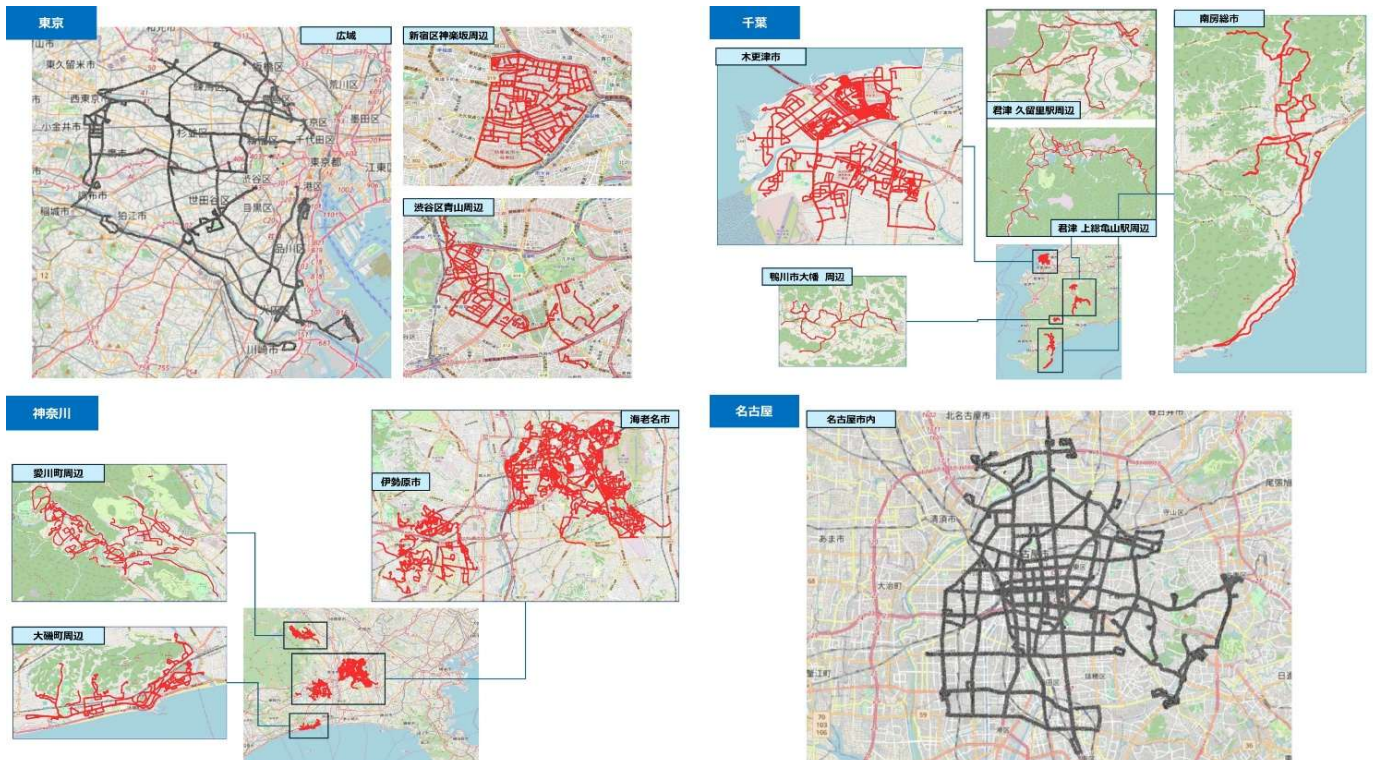
ダイナミックマッププラットフォーム株式会社

3Dmapspocket®の一般道点群データ提供エリアを 11 都県で拡大 建設・インフラ管理・不動産開発などの現場状況把握・分析を支援

ダイナミックマッププラットフォーム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO:吉村 修一、以下「当社」)は、当社が提供する総合 3D 空間プラットフォーム「3Dmapspocket®」において、2026 年 7 月 30 日より一般道点群データの提供エリアを拡大することをお知らせします。

今回、当社保有データに加え、NTT ME 株式会社(以下「NTT ME」)が取得した 3 次元点群データを 3Dmapspocket®に新たに登録することで、関東・中部・東北地方の 11 都県の一部地域におけるデータ利用可能範囲を拡充します。主な追加エリアは、東京都内、神奈川県県央エリア、千葉県房総エリア、愛知県名古屋市内のほか、埼玉県、群馬県、栃木県、長野県、新潟県、福島県、宮城県の一部地域です。

これにより、高速道路や主要幹線道路に加え、一般道や生活道路を含むより幅広い道路空間のデータを活用できます。建設・土木、道路管理、インフラ保全、不動産、防災など幅広い分野において、現地調査前の状況確認や関係者間での情報共有・認識合わせに利用できるエリアがさらに広がります。



一般道点群データ追加エリア(一部抜粋)

3Dmapspocket®は、当社が取得した全国的高速道路、自動車専用道路、国道、主要幹線道路の3次元点群データと Google Photorealistic 3D Tiles を統合し、ブラウザ上で高精度な 3D 空間の計測・分析・配置など複合的な空間検証を可能にするサービスです。インフラ管理や交通事故調査、不動産開発など、さまざまな産業における業務効率化を支援しています。

一般道データの拡充により、利用者は現地に行かずとも道路周辺環境を把握できるエリアが広がります。また、距離・高さ・道路幅員などの計測や、関係者間での円滑な情報共有など、現地調査前の検討や業務効率化に活用いただけます。

- 想定される活用例:
- ✓ 建設・土木工事における事前調査
- ✓ 道路・橋梁等インフラの維持管理
- ✓ 不動産開発における周辺環境確認
- ✓ 交通事故調査
- ✓ 災害発生時の状況把握
- ✓ 自治体におけるインフラ管理 など

当社は今後も、NTT ME をはじめとするパートナー企業との連携を通じて、3D 空間データのキャバレッジ拡大および機能強化を進めてまいります。「Modeling the Earth」のビジョンのもと、社会インフラ、建設、不動産、交通、自治体など、さまざまな産業分野における課題解決と DX 推進に貢献してまいります。

<ダイナミックマッププラットフォーム株式会社について>

当社は日本政府によるバックアップのもと、国内自動車メーカー10社等の出資により設立されました。日本をヘッドクォーターに、北米・欧州・中東・韓国に拠点を構え、現在 26 ヶ国で事業を展開。自動運転や先進運転支援システム(ADAS)をはじめ、シミュレータ環境構築、インフラ管理、除雪支援など、幅広い用途に向けて高精度 3 次元データを提供しています。

「Modeling the Earth」＝地球のデジタル化をビジョンに、高精度 3 次元データのプラットフォームとして、様々な産業分野におけるイノベーションを共創します。

設立: 2016 年 6 月

本社: 東京都渋谷区

代表者: 吉村 修一

事業内容: 自動運転・ADAS をはじめ多様な産業を対象とした高精度 3 次元データの提供

公式サイト: <https://www.dynamic-maps.co.jp/>

公式 X: https://x.com/dynamic_maps